

寒波などによる 水道管の凍結にご注意ください



■問い合わせ 上下水道課 ☎ 64・6029

水道管が破裂した場合

家の水道管が破裂したときは、水道メーターボックス内の止水栓

湯をかける時はぬるま湯で。熱湯は厳禁！

凍結により水が出なくなっても、日中、気温が上昇すれば元どおり出るようになります。もし、すぐに水が必要な場合は、ドライヤーで温めたり、水道管にタオルをかけ、その上からぬるま湯をゆつくりかけたりして溶かしてください。

熱湯はかけないでください。水道管が破裂します。

止水栓の閉め方

止水栓キーで開閉する型

止水栓キーを差し込む

時計回りに、止まるまで回す

手で開閉する型

時計回りに、止まるまで回す

※止水栓キーについては、最寄りのホームセンターや金物店に問い合わせてください

水漏れの確認方法

パイロット部分が...

回転している	回転していない
水漏れの疑いあり	水漏れの疑いなし
指定工事に連絡を！	定期的を確認を！

※すべての蛇口を閉めた状態で確認してください

水道メーターのパイロット

給水装置の修繕区分

地中の配水管 | 止水栓・水道メーター | 家庭の蛇口

市が修繕 | 各戸が修繕

凍結・破損したときの 応急処置

凍結して水が出なくなった場合

凍結により水が出なくなっても、日中、気温が上昇すれば元どおり出るようになります。もし、すぐに水が必要な場合は、ドライヤーで温めたり、水道管にタオルをかけ、その上からぬるま湯をゆつくりかけたりして溶かしてください。

熱湯はかけないでください。水道管が破裂します。

凍結して水が出なくなった場合、市の指定工事店を知りたい場合は、止水栓の場所がわからない場合は、上下水道課へ連絡してください。

※メーターボックスと止水栓が離れている場合もあります

水漏れを確認するには

水道管が破損すると、破損したところから水漏れが起きます。水漏れに気付かずにいると、貴重な水がむだになる上、水道料金が思わぬ高額になってしまうこともあります。

水道管の凍結や破裂が起きた恐れがあるときには、一度、すべての蛇口を閉め、水道メーターのパイロット部分を確認してみてください。

蛇口や水道管などの給水装置が破損した場合、修繕が必要になります。破損箇所によって連絡先が異なります（左図）。

上の確認方法で水漏れの疑いがある場合は、水道メーターから家の蛇口までの間の破損が考えられますので、市の指定工事店へ連絡してください。

配水管から水道メーターまでの間については、市が修繕しますので、破損などを見つけたら、上下水道課へ連絡してください。

凍結を予防するには

水道管は、大部分が地中に埋設されていますが、一部、屋外に露出しているため、敷地内に設置されたメーターボックス内を通ったりする部分があります。

これらは、地中や屋内に比べて気温の影響を受けやすくなります。凍結予防には、これらの外気に触れやすい部分の保温が効果的です。

毎年、冷え込みが厳しくなり、最低気温が氷点下になると、市内でも「水道管が凍って水が出ない」「水道管が破裂した」といった事故が起ることがあります。

こうした事故を防ぐには、あらかじめ水道管を保温し、もし水が出なくなっても、あわてず落ち着いて対処することが重要です。

今月号では、こうした水道管の凍結を防ぐ方法や、応急処置の方法について紹介します。

メーターボックス内の保温方法

上からビニールをかぶせる

メーターボックス内

元栓（止水栓）

保温材（発泡スチロールや新聞紙）

露出管の保温方法

屋外に露出している水道管の保温には、ホームセンターなどで売っている保温チューブやタオルを巻くことが効果的です。

保温材

ビニールテープ

水道メーターボックス内部を保温する

敷地内に設置されている水道メーターボックス内の保温には、新聞紙や発泡スチロールを敷き詰めて保温しましょう。